

【DTS】データ活用ソリューションで製造業 DX を強化

第2弾、生産管理パッケージ mcframe と工場 IoT で製造業向けデータ活用を実現

株式会社DTS(東京都中央区、代表取締役社長 北村 友朗)は、製造業に特化したグローバル SCM(サプライチェーンマネジメント)ソリューション「mcframe 7 SCM/PCM(エムシーフレーム)」(ビジネスエンジニアリング株式会社)の取り扱いを開始しました。既存の工場 IoT ソリューション、データ活用ソリューション等と組み合わせ、製造業のお客様の課題解決をサポートします。

DTSでは製造業向けに 2019 年から工場内のオペレーションをシステムで支援する工場 IoT ソリューションの提供を開始し、2022 年 4 月からクラウド型のデータ活用ソリューションを提供しています。これらのソリューションと mcframe シリーズを組み合わせることで、製造業の事業活動のすべてのデータを収集・可視化し、リアルタイムで問題を把握し、改善策を即座に反映し実行できる製造業向けデータ活用ソリューションの提供が可能となりました。

DTSはこれからも製造業向けパッケージ製品の取り扱い等を拡充させ、お客様の DX 化の推進に向けて最新のテクノロジーを駆使し、業務の効率化・自動化、新たなビジネスを創造するためのデジタル化を全面的に支援してまいります。

【DTSの製造業向けデータ活用ソリューションのイメージ】



【導入効果】

- ・ 生産管理システムのデータと、工場内オペレーションのデータを横断的に収集・蓄積・可視化し、現状の製造状況の問題をリアルタイムで把握できる
- ・ 抽出された問題に対する改善策を即座に生産管理システムに反映し、実行できる
- ・ 環境の変化にも迅速に対応し、バリューチェーンを常にアップデートし、経営の意思決定を支援できる

【DTSの製造業ソリューションの取り組みについて】

DTSは自社開発の BI/ダッシュボード製品「DaTaStudio@WEB」/「GalleriaSolo(ガレリアソロ)」、製造業向け IoT プラットフォーム製品「Pasteriot(パステリオ)」を中心に、2018 年より製造業向けトータルソリューション「DTS Connected Industries」を展開してきました。

生産管理システムなど IT データの可視化を中心に提供していく中で、2019 年には株式会社ジェイテクトの工場 IoT ソリューション「稼働アップ Navi™ Pro」の取り扱いを開始し、製造現場の課題解決に対象を拡大しました。

そして今回、グローバル SCM(サプライチェーンマネジメント)ソリューション「mcframe 7 SCM/PCM」を取り扱うことで、受注から製造・販売に至る製造基幹システム構築に対象範囲を拡大し、個別最適になりがちな製造業の IT (Information Technology) と OT (Operational Technology) 両方の課題を合わせて解決することが可能となりました。

【mcframe について】

mcframe は生産・販売・在庫・原価管理等の各種機能を提供し、組立加工からプロセス製造、個別受注生産まで対応可能な製造業向け SCM(サプライチェーンマネジメント)パッケージです。1996 年の販売開始から世界 17 か国 2,000 サイト、1,000 社以上の導入実績を誇る、製造業デジタルソリューションです。

<https://dts-bigdata.jp/service/mcframe.html>

【稼働アップ Navi™ Pro について】

稼働アップ Navi™ Pro は生産現場の設備・人・情報をつなぐ Jtekt IoE Solution のラインナップの一つで、センサーや PLC などから収集したあらゆる設備の情報を可視化し改善に必要な情報に解析する、トヨタ生産方式に裏付けられたノウハウの詰まったソリューションです。

<https://jtekt-ioe.jp/>

【Snowflake について】

Snowflake は、データクラウドによって、あらゆる組織がデータをモビライズできるようにします。お客様はデータクラウドを使用して、サイロ化されたデータの統合、データの発見と安全な共有、多様な分析ワークロードの実行を実現します。データやユーザーのロケーションに関係なく、Snowflake は複数のクラウドや地域にまたがる単一のデータエクスペリエンスを提供します。

<https://dts-bigdata.jp/service/snowflake.html>

【DTSが目指す DX 社会の実現に向けて】

DTSグループは業種・業界に合わせたデータ活用ソリューションを順次提供していくことを通じて、時代と共に移り変わるデータ活用の真の価値を追求し具体的な形にして、お客様にお届けしていきます。「活かす方はお客様次第」という IT ツールベンダーのマインドから脱却し、「お客様にとっての価値＝社会にとっての価値」ととらえ、社会発展に寄与する価値あるソリューションを展開します。

DTSでは 2022 年 4 月よりデータ活用の特化したソリューションの提供を開始しています。第 1 弾としてクラウド型データ活用プラットフォーム「Snowflake」、第 2 弾として生産管理パッケージ「mcframe」を提供し、続く第 3 弾は、データマネージメントと製造業ソリューションのさらなる強化を図り、製造業向けトータルソリューション「DTS Connected Industries」をさらに深化させていきます。

関連ニュース [第1弾、スノーフレイクとの提携によるデータ活用プラットフォームの実現]

<https://www.dts.co.jp/news/2022/press-20220527.php>

※mcframe のロゴ、および本書に記載されているその他すべての mcframe の製品、機能、サービス名は、ビジ

ネスエンジニアリング株式会社の登録商標または商標です。

※稼働アップ Navi™ Pro のロゴ、および本書に記載されているその他すべての稼働アップ Navi の製品、機能、サービス名は、株式会社ジェイテクトの登録商標または商標です。

※ snowflake のロゴ、および本書に記載されているその他すべての Snowflake の製品、機能、サービス名は、米国およびその他の国における Snowflake Inc.の登録商標または商標です。

【DTSグループについて】

DTSグループは金融や通信をはじめ、幅広い業種・業態のお客様にコンサルティングから設計、開発、基盤構築、運用まで IT システムに関わるさまざまなサービスを提供しています。

本社所在地: 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンパイヤビル

<https://www.dts.co.jp/>

<本件に関する問い合わせ先>

デジタルインテグレーション事業部 担当: 伊東、須田

TEL: 03-6914-5569 E-mail: solution@dts.co.jp

<報道機関からの問い合わせ>

広報部 担当: 熊田、新貝

TEL: 03-6914-5463 E-mail: press@dts.co.jp

以上